

- 問1 室町時代、細川氏が実権を握り、明との間で行われた貿易を何という？
- 問2 室町時代中期、将軍の継承問題などをめぐって起こり、下剋上の風潮が広まるきっかけとなった出来事は？
- 問3 下の身分の者が、上の身分を力で倒して地位を奪う、室町時代の社会風潮を何という？
- 問4 日明貿易などで繁栄した自治都市「堺」は、現在の何という都道府県に位置している？
- 問5 正長の土一揆において、農民たちが酒屋や土倉を襲い、借金の帳消しを求めた要求を何といいますか？
- 問6 室町時代に町衆が主体となって祭礼が運営された、京都にある神社を何という？
- 問7 後醍醐天皇による天皇親政が始まるきっかけとなった、1333年に滅亡した武家政権は何か？
- 問8 観阿弥とともに能を大成させ、能楽の基礎を築いた人物は誰？
- 問9 室町文化において、武士の精神に大きな影響を与え、水墨画や書院造の基礎となった教えを何という？
- 問10 室町時代、農民たちが「寄合」を通じて村の運営を独自に行うようになった村の組織を何というか？
- 問11 15世紀に統一され、中継貿易で大きく繁栄した島はどこ？
- 問12 室町時代、3代将軍足利義満が京都の北山に建てた、北山文化を代表する建築物を何という？
- 問13 借金の帳消しなどを求めて、高利貸などを襲撃した農民らの蜂起を何という？
- 問14 応仁の乱以降、農民や武士が団結して守護大名を倒し、自分たちで地域を治めた動きの一つを何という？
- 問15 室町時代、京都に慈照寺銀閣を建てて、簡素で気品ある文化の発展を支えた将軍は誰？
- 問16 室町幕府の体制において、将軍の補佐役を務め、地方統政を担う重要な機関でもあった役職を何という？
- 問17 15世紀後半、細川氏と山名氏が対立し、将軍の跡継ぎ問題などが絡んで京都で起こった大規模な内乱を何という？
- 問18 建武の新政の混乱を批判し、1334年に京都の二条河原に立てられた落書で、その当時の混乱を招いた天皇は誰ですか？
- 問19 室町幕府の足利尊氏によって京都を追われ、吉野に南朝を開いた天皇は誰？
- 問20 1428年に正長の土一揆が初めて発生した場所はどこですか？
- 問21 室町幕府の第3代将軍であり、京都の北山に金閣を建てた人物は誰？
- 問22 鎌倉幕府が滅亡した後、天皇中心の政治を再び行おうとして失敗した人物は誰？

## 答え合わせ・解説

問1	答え 勘合貿易	足利義満が開始した勘合貿易は、明の皇帝が発行した証明書である「勘合」を所持した船のみが貿易を許可される仕組みです。これにより倭寇と区別され、円滑で利益の大きい貿易が可能となりました。細川氏や大内氏といった有力な守護大名がこの貿易の実権を争い、大きな利益を得ました。
問2	答え 応仁の乱	8代将軍足利義政の後継者争いに、有力な大名家である細川氏と山名氏の対立が絡み、京都を中心に約11年間も続いた大乱です。京都は灰燼に帰し、幕府の権威は地に落ちました。
問3	答え 実力	かつての伝統的な秩序や家柄が重んじられる時代から、個人の能力や武力が重要視される時代へと変化しました。これが「実力」主義的な社会風潮である下剋上の本質です。
問4	答え 大阪府	堺は大阪湾に面した港町であり、その立地の良さを活かして海外との交易で巨大な富を蓄積しました。特に日明貿易が盛になると、堺の商人たちはこの利益を独占し、政治的にも強大な力を持ちました。
問5	答え 徳政	土一揆において農民たちは「徳政」を要求しました。これは、債務者の借金を無効にする、あるいは利子を免除するといった救済措置のことです。彼らは酒屋や土倉を襲い、借金の証文を奪って破棄させるなどの実力行使を行いました。
問6	答え 八坂神社	八坂神社で行われる祇園祭は、室町時代の京都において、有力な商工業者である「町衆」が中心となって運営されました。町衆は自分たちの住む街を守り、団結力を誇示するために豪華な山鉾を造り、祭りを盛り上げました。これは都市自治の象徴でもありました。
問7	答え 鎌倉幕府	鎌倉幕府は、北条氏が実権を握り、武士による裁判や土地支配を行う仕組みを整えていました。しかし、1333年に足利尊氏や新田義貞の活躍によって滅亡しました。これにより約150年続いた武士による支配体制が一時的に崩れることとなりました。
問8	答え 世阿弥	世阿弥は、父である観阿弥の才能を受け継ぎ、室町幕府の将軍足利義満に認められました。彼は能の理論を記した『風姿花伝』を著すとともに、多くの優れた脚本を書き上げ、能を大衆的な芸能から芸術性の高い舞台芸能へと完成させました。
問9	答え 禅宗	禅宗は、単なる宗教だけでなく、茶の湯や華道、水墨画などの芸術にも強い影響を与えました。室町時代の文化の中心地となった京都の五山寺院を中心に、多くの僧侶が教えを広め、質素で引き締まった精神性を重視する独自の文化が形成されました。
問10	答え 惣村	惣村は、村人が共同で地主や守護大名に対抗するための組織でした。村人たちは「寄合」を開いて村のルールを決めたり、用水路の管理を行ったりしました。また、守護大名が過度な年貢を取りに来たときには、団結して抵抗する権利も持っていました。これにより、中世の村は高い自主性を持つようになりました。
問11	答え 沖縄本島	沖縄本島を中心とする琉球王国は、中国、日本、東南アジアの間に位置する地理的条件を活かしました。それぞれの国から仕入れた品物を他の国へ運ぶ「中継貿易」を行い、東アジアにおける物流のハブとして莫大な利益を上げました。この貿易を通じて、日本文化や中国文化も影響を受けました。
問12	答え 鹿苑寺金閣	鹿苑寺金閣は、この北山山荘の中核として建てられた舎利殿です。2層と3層に金箔が貼られており、池に映る姿は室町文化の豪華さを象徴しています。
問13	答え 土一揆	「土一揆（つちいっき）」は、経済的な困窮に追い込まれた農民たちが団結して起こした反乱です。特に、高利貸しを営む土倉や酒屋を襲撃して、借入書を破棄させる「徳政（借金の帳消し）」を幕府に要求しました。
問14	答え 一向一揆	一向一揆は、浄土真宗の強い信仰で結ばれた民衆が指導者のもとに組織的に戦ったものです。彼らは守護大名を追放し、加賀国のように長期間にわたり自分たちの支配を確立する地域もありました。
問15	答え 足利義政	足利義政は京都の東山に山荘を構え、茶の湯や華道、連歌などの文化的な活動を奨励しました。義政自身が理想とした「わび・さび」という美的感覚が、その後の建築や庭園のデザインに反映されました。
問16	答え 管領	管領は、足利氏の一門である有力な守護大名（斯波氏、細川氏、畠山氏）が交替で務めた役職で、将軍を助けて幕府の政治や行政を統括しました。鎌倉府のような地方機関が力を強める中、中央の幕府を支える要としての役割を果たしました。
問17	答え 応仁の乱	応仁の乱は1467年に始まり、約11年間にわたって京都を舞台に繰り広げられた戦いです。この戦いにより、京都の町は荒廃し、幕府の権威は地に落ちました。守護大名が領国を留守にしていたため、各地で下剋上の風潮が強まりました。
問18	答え 後醍醐天皇	しかし、この政治は急進的な改革が多く、武士の恩賞問題などが解決されなかったため、多くの不満を招きました。1334年に京都の二条河原に立てられた落書は、この無秩序な世相や公家による政治への批判を、七五調で風刺したものです。
問19	答え 後醍醐天皇	武士の支持を失った後醍醐天皇は、足利尊氏と対立して京都を追われました。尊氏が京都に別の天皇を立てると、自らは奈良の吉野へ逃れ、そこで南朝を開きました。これ以降、京都の北朝と吉野の南朝が並立する動乱の時代が始まりました。
問20	答え 近江国	1428年に近江国（現在の滋賀県）の馬借らが蜂起したのが正長の土一揆の始まりです。馬借とは馬を使って荷物を運ぶ運送業者で、この時代の流通において重要な役割を果たしていました。彼らが酒屋や土倉を襲撃し、借金の破棄を求めた動きは瞬く間に近畿地方全体へと広がりました。
問21	答え 足利義満	義満は京都の北山に別荘として北山殿を造営し、その象徴として金閣を建てました。金閣は伝統的な公家文化と新興の武家文化を融合させた豪華な建物です。この建築様式は、義満の時代の文化を象徴するものとなりました。
問22	答え 後醍醐天皇	後醍醐天皇は足利尊氏や新田義貞らの協力を得て鎌倉幕府を滅ぼしました。その後、天皇が権力を集中させる「建武の新政」を開始しましたが、武士の利益を無視した政策が多く、武士たちの反発を招きました。